

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体		
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小と 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進							
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙		歯・口腔の健康	
1	高齢者いきいき課	その他		配食サービスの委託	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）のうち希望する曜日の夕食を、ご本人に手渡しで提供 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/haishoku.html	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）	各世帯	次のいずれかに当てはまる方 1.介護保険の要介護4または5の介護認定を受けている65歳以上の方 2.次の2つの条件を両方満たす方 ①世帯の全員が65歳以上で、かつ調理が困難で支援が必要である ②利用対象者が低所得（合計所得金額160万円未満）である。 平成30年度 配食数 25,907食 決算額 5,595,912円 令和元年度 配食数 29,811食 決算額 6,500,912円 令和２年度 配食数 33,233食 決算額 7,311,260円	1.よくできた	○	○				◎		○							高齢者いきいき課、配食サービス事業者
2	高齢者いきいき課	その他		デイ銭湯	健康チェック・体操・入浴等の生きがいと健康づくりを公衆浴場（銭湯）で実施 URL:http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/day_senbou.html	3カ月の間で6回	市内各銭湯	65歳以上の市民	令和元年度 参加者延べ人数 1,049名 決算額 5,275,976円 令和２年度 参加者延べ人数 558名 決算額 3,829,804円	3.あまりできなかった	○	○	○		◎			○	○				高齢者いきいき課	
3	高齢者いきいき課	その他		いきいきサークル事業	1週間～1か月に1回、自治・町内会館などを実施場所として、軽体操・健康講話・各種レクリエーション活動等の生きがい・健康づくりを行う。 URL： http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/ikiiki_circle.html	随時	市内各所	60歳以上の市民	令和元年度 参加団体数 45 団体 決算額 3,265,000円 令和２年度 参加団体数 48 団体 決算額 2,923,865円	2.だいたいできた	○	○	○		◎			○	○				高齢者いきいき課	
4	高齢者いきいき課	その他		みらいふる鎌倉（鎌倉市老人クラブ連合会）支援事業	会員同士の交流や親睦を深めるなど生活を豊かにする楽しい活動や清掃ボランティアやサロンの開催など社会活動を行う。	随時	市内各所	60歳以上の市民	会員数 3,287名 5部会・8地区で事業を企画し実施した。 参加延べ人数 1,701名	3.あまりできなかった	○		○		○				◎				高齢者いきいき課	
5	高齢者いきいき課	その他		シルバー人材センター支援事業	就労機会の充実を図り、生きがいづくりへの支援を行う。	随時	市内各所	60歳以上の市民	会員数 513名 就業実人数 458名 事業配分金 215,746,799円 一人当たり年間配分金 471,063円	2.だいたいできた	○		○		○				◎				高齢者いきいき課	
6	商工課	その他		生涯現役促進地域連携事業	知識、経験豊かな高齢者を活用して、地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者には社会参加や生きがいづくりの機会を与えることを目的に、高齢者の就労を支援する。就労相談窓口の開設、就労啓発セミナーの実施など。	随時	市内各所	55歳以上の市民	・相談窓口での相談者 306人 ・高齢者の就労啓発セミナー（1回実施） 16人参加 ・企業との合同就職説明会（2回会場実施、1回求人票送付のみ）延べ86人参加 その他に、事業所訪問（110件）を実施し、高齢者雇用についての啓発を行い、就業に結びついた件数は延べ134件	1.よくできた	○		○		○				◎				商工課、生涯現役促進地域連携鎌倉協議会	
7	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくらヘルシーポイント	スマートフォンアプリ等を用いてのウォーキングや健康診査の受診、健康づくりイベントへの参加などに対してポイントを付与し、獲得したポイントに応じて景品（抽選制）への応募を可能とする。ターゲットは、30代～50代を想定しており、早いうちから健康づくりに取り組むことで、将来の生活習慣病の発症や重症化の予防につなげる。	通年	各所	20歳以上の市民及び市内在勤者 目標6,000人	最終参加人数 4,127人 また、国が推奨する歩数（男性7,000歩、女性6,000歩）を、男性は4～7月、女性は4月～9月において達成することができた。	2.だいたいできた	○	○	○	○	○			◎						
8	市民健康課	情報提供・普及啓発		未病センターかまくら	市民が手軽に健康状態をセルフチェックし、自分の健康状態を「見える化」することで、その結果に基づき「未病改善」に取り組むためのアドバイスや情報提供を行う。	平日10時～15時	鎌倉市福祉センター1階	市民及び県民	未病センター利用者数 延べ149人（R1延べ1806人） 実人数62人（R1実 791人） ＊令和2年4～6月は新型コロナ感染症予防のため閉館。	4.ほとんどできなかった	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	神奈川県		
9	市民健康課	イベント		ピンクリボンかながわ	乳がん予防のための生活習慣の見直しや、早期発見のための検診受診、自己触診の習慣化などを周知し、市民へ啓発する。	10月	大船観音寺等	市民	イベント実施はせずに、湘南モノレールピンクリボン号にステッカー広告などを掲示した。（R1は全3回の啓発イベントを開催。来場者 980名）	3.あまりできなかった	○	◎										ピンクリボンかながわ		

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった
【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れていきます。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画												協力・連携団体					
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小と 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						歯・口腔の健康			
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	運動・活動	休養・こころの健康づくり	飲酒		喫煙				
10	市民健康課	情報提供・普及啓発		「祖父母世代向け手帳」の配付	次世代を社会全体で育てていくことを考える契機とするため、祖父母を含む地域住民が妊娠から乳幼児期、学童期、思春期の子育て中にある者を実際にサポートするための情報をまとめた冊子を作成し、広く配付する。	随時	市内各所	市民	平成29年度に4,500部作成。母子保健事業や介護予防事業のほか、市内各所で配布した。	1. よくできた	○		○	◎		○										
11	市民健康課	その他		乳幼児健康相談 (抱っこdeシャベル)	身長・体重の計測、個別相談、育児のワークショップを行う。保護者との個別相談の時間を設け、育児、口腔ケア・栄養などについての支援を行う。特別な支援の必要な児の口腔ケア相談。健診・教室の事後フォローの場ともしている。	中止	市内	乳幼児とその保護者	密を避けるため、会場での開催を中止。 保健師、助産師、栄養士、心理士、理学療法士がそれぞれ専門相談として、面接や電話、オンライン、訪問にて個別対応した。 ＜参考＞ 電話・面接・メール相談等 乳児4627件(R1:2975件)、幼児4335件(R1:4120件) 訪問指導 乳児788件(R1:731件)、幼児70件(R1:41件)	3. あまりできなかった	○		○	◎			○	○	○							○
12	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等をおとして伝える。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	4. ほとんどできなかった	○	○		○	○			◎								
13	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域健康づくり事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、骨密度等の測定や体力測定、健康づくりに関する講話、健康づくり計画の啓発等を行う。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	【成人】依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。中学校祭等は外部の参加は中止となっており、地域からの依頼なし。 【高齢者】集まる際に必要な感染予防対策を伝えながら、実施。延23団体 延279名	3. あまりできなかった	◎	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
14	市民健康課	その他		成人健康診査事業	スマホdeドック、大腸・肺・乳（マンモグラフィ）・子宮頸がん検診、胃がんリスク検診、乳房健康指導、結核検診、肝炎検診、前立腺がん検診	令和2年9月～令和3年2月	検診実施医療機関（スマホdeドックのみ、自宅）	【スマホdeドック】20歳～38歳の女性および鎌倉市国民健康保険加入男性 【がん検診・胃がんリスク検診】40歳以上の方（子宮頸がんのみ20歳以上） 【乳房健康指導】20～38歳の偶数年齢の女性の方 【結核検診】16～39歳の方 【肝炎検診】40歳以上の方（申込制）	各健診の受診率（受診数/対象者数） スマホdeドック：4.5％（R1は4.1％） 大腸がん：26.8％（R1は30.5％） 胃がんリスク：14.9％（R1は8.9％） 肺がん：29.7％（R1は33.4％） 子宮頸がん：19.4％（R1は20.9％） 乳がんマンモ：23.4％（R1は25.3％） 乳房健康指導：1.9％（R1は2.9％） 前立腺がん：27.3％（R1は25.2％） 結核：0.8％（R1は0.9％） 肝炎は申込制のため受診率といった数値が算出できないため受診者数を提示：283人（R1は358人）	2. だいたいできた	○	◎					○	○	○	○	○	○				
15	市民健康課	その他		成人健康診査事業	歯周病検診	令和2年9月～令和3年2月	検診実施医療機関	20、24、28、32、36、40、50、60、70歳の者	受診者数 217人（R1は281人）	2. だいたいできた	○	○												◎	市民健康課、鎌倉市歯科医師会	
16	市民健康課	その他		妊産婦・乳幼児家庭訪問	妊娠、出産、産褥、授乳、育児についての知識を指導し、不安の軽減など精神的援助を行う。健診・教室の事後フォローとして発達・育児の指導等の指導。健診・教室の未受診児に対し状況確認・指導。虐待予防等としての育児指導と保護者等の支援。	通年	妊産婦・乳幼児の家庭	ハイリスク・要支援妊婦、生後4カ月までの全児と産婦。健診・教室等にて必要とされた児・保護者。健診：教室等未受診児。育児等要支援児。	妊婦：実4人 延6人（R1実5人延6人） 産婦：実918人 延947人（R1実952人 延987人） 未熟児：実50人 延51人（R1実69人 延70人） 新生児：実203人 延206人（R1実203人 延206人） 乳児：実759人 延786人（R1実695人 延731人） 幼児：実46人 延72人（R1実22人延41人） その他：実4人 延5人（R1実1人延2人）	1. よくできた			○	◎												
17	市民健康課	その他		妊産婦健康診査	妊娠週数に応じた健康診査を行うことにより、妊娠による合併症、流早産・未熟児出生の予防と、母体・胎児及び新生児に影響を及ぼす疾病等の早期発見、早期治療に努める。産後1か月健康診査を行うことにより、産後の母体回復に影響を及ぼす疾病等の早期発見、早期治療に努める。	通年	医療機関	市内在住の妊産婦	妊婦健診は受診率76.7％（R1は82.8％） 産後含めると73.4％（R1は79.6％） 妊婦届け出後の転出及び流産は未把握。 平成19年度から、妊婦健診票を取り扱わない医療機関や助産院等で受診した場合、補助金による償還払いを開始。（上記の数字は委託分と償還払いを足した数）	1. よくできた				◎		○		○	○	○	○			市民健康課、神奈川県産科婦人医会他		

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	新規事業	令和２年度実施事業					かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画														協力・連携団体		
				事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発生予防と重症化 予防の徹底	社会生活を営む ために必要な機能 の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環 境の整備	生活習慣の改善の促進							歯・口腔の 健康	
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	運動・ 身体活動・	休養・こころの 健康づくり	飲酒	喫煙				
18	市民健康課	その他		妊婦歯科健康 診査	妊娠期は、様々な口腔疾患が起 こりやすいことを踏まえ、重度 の歯周病と早産・低体重児出産 予防や妊娠期からの切れ目ない 支援の一環とすることを目的と し、無料で歯の状態と歯肉の チェック、歯みがき指導等を実 施する。	妊娠中に１ 回	医療機関	市内在住の妊 産婦	受診率27.7%（R1：20.4%） 受診者数295名（要請検68.1%） 令和元年６月から開始。R1は案内 送付は624名＋6月3日以降の妊娠 届け出者778名を含んでいる。	１．よくできた						◎			○		○	○	○		市民健康課、 鎌倉市歯科医 師会
19	市民健康課	その他		産後ケア	母親の産後の身体的回復と心理 的な安定を促進するとともに、 母親自身がセルフケア能力を育 み、母とその家族が健やかな育 児ができるよう支援する	随時	市内	産後４か月ま での児と母	【宿泊型】延22人 利用延日数 107日（R1は延17人、94日） 【通所型】延3人 利用延日数9日 （R1は延6人、12日） 【訪問型】延人数34人 利用延日 数44日（R1は延54人、73日） 【集团デイ】6回、41組参加	１．よくできた						○	○			○					ティアラかまく ら、山本助産 院、湘南鎌倉 パースクリニッ ク、井本助産 院、うみのさち 母乳育児相談 室、母乳育児相 談室～陽だまり ～、みやうち赤 ちゃんおっぱい 相談室、宮崎 由美子(助産師)
20	市民健康課	その他		乳児健康診査	【４か月児健康診査】 【お誕生前健康診査】 疾患や発育・発達などの総合的 な健康診査。問題等発見時には 適切に医療、療育、相談につな げる。	通年	医療機関	乳児	【４か月児健康診査】100.9% （R1は97.1%） 【お誕生前健康診査】99.8%（R1 は97.2%）	１．よくできた	○			○	◎										市民健康課、 乳児健診委託 機関（鎌倉市 医師会、湘南 鎌倉総合病 院、湘南かま くらクリニック、 西鎌倉こども クリニック）
21	市民健康課	その他		幼児健康診査	【1歳6か月児健康診査】 【2歳児歯科健康診査】 【3歳児健康診査】 疾病、発育、発達の総合的な健 診。問題等発見時には適切に医 療、療育、相談につなげる。 生活習慣の自立、う歯の予防、 幼児の栄養、その他育児等に関 する指導・相談	通年	鎌倉市福祉 センター他	幼児	【1歳6か月児健康診査】94.9% （R1は95.6%） 【2歳児歯科健康診査】30.0% （R1は76.2%） 【3歳児健康診査】86.2%（R1は 93.2%） 1.6と3健はR2.4～5月中止。2歯は R2.4～9月中止。	１．よくできた	○			○	◎			○	○	○				○	市民健康課、 鎌倉市医師 会、 鎌倉市歯科医 師会
22	市民健康課	その他		ママとパパの ための健康 チェック	乳幼児健康相談を利用の保護者 の骨密度測定等の健康チェック を行い、自己管理意識の向上を 支援する。各会場、年１回実 施。	令和2年5月 ～9月	市内学習セ ンター等	乳幼児健康相 談を利用の保 護者	中止。未病センターの利用勧奨な どを行った。	４．ほとんどで きなかった	○	◎	○	○				○	○	○	○	○	○		
23	市民健康課	その他		後期高齢者健 診	健診の実施（問診・身体計測・ 視診・打聴診・触診・血圧・血 液検査・尿検査・心電図）及び 健診結果に基づいた保健指導	令和2年9月 ～令和3年2 月	健診実施医 療機関等	75歳以上の方 及び65～74歳 で、一定の障 害により広域 連合の認定を 受けた方	受診率31.4% 受診者数9,889名 （R1は受診率35.4% 受診者数 11,006名）	１．よくできた	○	◎				○		○	○	○	○	○	○		
24	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【両親教室（妊娠中からの子育 て教室）】 妊娠期間を健やかに過ごし、安 全に出産できるよう妊娠、出 産、育児についての知識の普及 を図るとともに、それらに伴う 不安の軽減など精神的援助を行 う。地域で支えあう仲間づくり の第一歩として位置づける。	2コース	たまなわ交 流センター	妊娠22週～31 週の妊婦及び 産婦とその家 族	6回、延100名 実 妊婦53名 夫 47名（R1は15回 延320名 実 妊婦170名 夫126名）	２．だいたい できた	○	○			◎			○		○	○	○			
25	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【初期の離乳食教室】 離乳食初期についての知識習得 と実習。 育児に限らず、防災対策の一環 としてのおんぶの効果・必要性 について講義と体験をとおし て、理解をすすめる。お子さん や保護者が初めて接する「食」 体験の大切さを伝える。	通年（月1 回）	深沢行政セ ンター他	５ヵ月の児の 保護者	6回、母50名（R1は母185名、父9 名、その他3名）R2.4～9月は中 止。	２．だいたい できた				○			◎								
26	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【６か月児育児教室（まんま♡る ～ぶ）】 【1歳児歯科育児教室（いい歯 にっこりスクール）】 保護者との個別相談の時間を設 け、発育・発達の確認、生活リ ズムや栄養等の育児相談。	通年	市内支所等	乳児	【６か月児育児教室（まんま♡る ～ぶ）】 参加率66.5%（R1 75.4%）R2.4 ～6月は中止。 【1歳児歯科育児教室（いい歯 にっこりスクール）】 中止。	２．だいたい できた				○	◎			○	○	○			○		
27	市民健康課	情報提供・普及啓発		生活習慣改善 プログラム	生活習慣改善のために、自宅で できる運動等の講義。	全7回2か 月コース	オンライン	運動習慣のな い20～64歳 の方	参加者19名、延べ82人。（R1参加 者18名）	１．よくできた	○	◎						○	○	○	○	○	○		

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった
【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体		
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小と 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						歯・口腔の健康	
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙			
28	市民健康課	情報提供・普及啓発		小中学生向け思春期出前講座「いのちの教室」	市内小・中学校に出向き「思春期のこころと体の変化」「いのちのはじまり」「性に対する意識と行動」「いのちの大切さ」「あかちゃんのお世話」等各学校の方針に沿った講座	通年	市内小・中学校等	市内在学の小・中学生等	12校 受講児数1,043名 (H30は8校828名)	1. よくできた	○		○	◎			○	○	○	○	○			
29	市民健康課	情報提供・普及啓発		思春期前講演会	子育てに関わる市民向けに、情報があふれる現代社会に生きる思春期のこどもたちの生きづらさや性にまつわるリスクを知ること、家庭や地域の役割やあり方を考える契機とする。	1回	市内	市民	中止 (R1は87名)	4. ほとんどできなかった	○		○	◎			○	○	○	○	○			
30	市民健康課	情報提供・普及啓発		ライフプラン講演会	ライフプランや性と生、人生の居場所づくりについて考える契機となるよう、市内の高等学校及び中学校と連携した授業を実施。	3回	市内中学校・高等学校	中学生・高等学校の生徒	中止 (R1は124名)	4. ほとんどできなかった	○		○	◎			○	○	○	○	○			
31	市民健康課	その他		健診事後フォロー教室ちびっこクラブ	集団遊びや創作遊びなどを通じて、社会性や対人関係の発達を促す。幼児の成長、発達には親子の関わりが重要だということを親に気付かせ、健全な親子関係の形成を助長する。育児不安の解消への手助けや子育ての支援を行う。	6日間×4回	たまなわ交流センター	幼児健康診査等事後フォロー児 (概ね1歳9カ月～2歳6カ月児)	18回、児127人 (R1は22回、児134名) R2. 5～7月コースは中止。	2. だいたいできた			○	◎			○	○	○					
32	市民健康課	その他		健診事後フォロー教室わんぱくクラブ	集団遊びや創作遊びなどを通じて、社会性や対人関係の発達を促す。幼児の成長、発達には親子の関わりが重要だということを親に気付かせ、健全な親子関係の形成を助長する。育児不安の解消への手助けや子育ての支援を行う。	6日間×3回	たまなわ交流センター	幼児健康診査等事後フォロー児 (概ね2歳0カ月～3歳児)	12回、児34名 (R1は16回、児102名) R2. 5～7月コースは中止。	2. だいたいできた			○	◎			○	○	○					
33	市民健康課	情報提供・普及啓発		65歳以上の方のためのからだの元気度チェック	1日目は体力測定と体組成測定など、2日目は結果説明と運動指導を行う。	市内4ヵ所2日間コース×3	市内	65歳以上の方	8回 76名 (定員 計160名) 令和2年7・8月の4回分は中止 (R1は9回 139名〔定員 計300名〕※3回分は中止)	3. あまりできなかった	○	○			◎		○	○	○				市民健康課、介護予防事業者	
34	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくらシニア健康大学	介護予防・健康づくりに関する知識の普及啓発をはかることを目的に、介護予防・健康づくりに関する様々なテーマで講座を実施する。	月1回程度	市内	65歳以上の方	8回 236名 (定員 計400名) 8月から実施。 (R1は10回 402名〔定員 計600名〕)	2. だいたいできた	○	○			◎		○	○	○				市民健康課	
35	市民健康課	情報提供・普及啓発		認知症サポーター養成講座	認知症について、理解を深め、認知症の方への対応方法等について講義やグループワークを通して学ぶ。	随時	各団体の活動場所等	依頼のあった活動団体等 (児童・生徒も含む)	23回 1,133名 (R1は46回 1,803名)	3. あまりできなかった	◎		○		○	○			○					
36	市民健康課	情報提供・普及啓発		いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会	研修及び講演会をとおして、命の大切さについて、再認識し、自殺や精神疾患に対する理解を深めることにより、支えあう地域づくりを目指す。	3月	オンライン	43名	実行委員会：年6回 講演会：1回、参加者数延べ43名 (R1、1回 参加者数延べ84名) クリアファイルを作成して、各事業等で配布。	2. だいたいできた	○		◎			○			○				鎌倉市、逗子市、葉山町、各社会福祉協議会、とらいむ、鎌倉保健福祉事務所	
37	市民健康課	情報提供・普及啓発		ゲートキーパー養成講座	自殺の現状やうつ・アルコールの害や、実際に「死にたい」等の訴えがあった際の話の聴き方や専門家へのつなげ方についての知識の普及啓発を行う。	随時	市内	378名	職員向け講座 3回 延97名 市民向け講座 7回 延281名 (R1：職員向け12回・延288名、市民向け1回・延58名)	2. だいたいできた	○		◎			○			○					
38	市民健康課	情報提供・普及啓発		自殺予防普及啓発事業	自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及を目的に、資料の展示や図書館と協力した普及啓発 (関連図書の紹介や読み聞かせ) 等を行う	自殺対策予防週間及び月間	図書館等	市民	9月に本庁舎ロビーへの展示を実施 市内図書館と連携し、同期間に関連図書の紹介等を実施 (R1同上)	2. だいたいできた			◎	○					○				市内図書館等	
39	市民健康課	情報提供・普及啓発		母子食育事業	お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝える	年間	市内各所	乳幼児及び保護者	32回、770人 (R1は68回、1301人)	2. だいたいできた	○			○			◎							

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体						
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康 寿命の延伸と 健康格差の縮小	主な生活習慣病の発症予防と重症化 予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能 の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進											
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	運動活動・	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙		歯・口腔の健康					
40	市民健康課	情報提供・普及啓発		幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」	「自分でやってみたい」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味う。図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行ったあと、日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験を行う。	年３回	たまなわ交流センター	２歳６カ月～３歳１１か月までの幼児及び保護者	中止（R1は３回、３０組募集22組の参加、参加率 73.3％） (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	４．ほとんどできなかった				○	○			◎										
41	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくら食育カレッジ	世代をとおり、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施する	随時	市内各所	市民	6回、44組募集で38組参加、参加率86.4％（R1は５回、117組募集で83組参加、参加率 70.9％）	１．よくできた	○				○	○		◎										
42	市民健康課	情報提供・普及啓発		健康・食育情報の発信	健康づくり通信やツイッター等を用いて健康・食育に関する正しい情報発信の充実を目指す	随時	市内各所	市民	公共の場を提供する団体の活動内容について、チラシの作成及びホームページ掲載を行った。	１．よくできた	○	○	○	◎	○		○	○	○	○	○	○						
43	保険年金課	普及啓発		各種パンフレットの作成・配布	国民健康保険や保健事業に関するパンフレットの配布	随時	保険年金課10番窓口／各支所	国保世帯 約25,000世帯	24,348世帯	１．よくできた	○				○	○	◎		○								神奈川県国民健康保険団体連合会	
44	保険年金課	普及啓発		国民健康保険医療費通知	一月分の医療費についてはがきで通知し、健康に対する意識や国民健康保険制度に対する認識を深めてもらうために送付	R3.1 R3.2 年2回発送	郵送	国保被保険者 年間で約33,000通	令和2年1月から令和2年11月：19,054通 令和2年12月13,977通 年間：33,031通	１．よくできた	○				○	○	◎										神奈川県国民健康保険団体連合会	
45	保険年金課	普及啓発		後期高齢者医療保険医療費通知	一月毎の医療費について封書で通知し、健康に対する意識や後期高齢者医療保険制度に対する認識を深めてもらうために送付	R3.2 R3.3 年2回発送	郵送	後期高齢者医療被保険者 年間で約60,000通	令和2年1月から令和2年11月：29,579通 令和2年12月：25,800通 年間：55,379通	１．よくできた	○					○	◎										神奈川県後期高齢者医療広域連合	
46	保険年金課	普及啓発		国民健康保険ジェネリック医薬品差額通知	特許が切れた後に発売された安価な医薬品（ジェネリック医薬品）について、薬を切り替えると自身が負担する金額がこれだけ安くなる旨の通知をはがきで行っている。	R2.3 R2.10 年2回発送	郵送	国保被保険者 年間で約3,500通	令和2年3月：1,379通 令和2年10月：2,100通 年間：3,479通	１．よくできた							◎										神奈川県国民健康保険団体連合会	
47	保険年金課	普及啓発		後期高齢者医療保険ジェネリック医薬品差額通知	特許が切れた後に発売された安価な医薬品（ジェネリック医薬品）について、薬を切り替えると自身が負担する金額がこれだけ安くなる旨の通知をはがきで行っている。	R2.11 発送	郵送	後期高齢者医療被保険者 年間で約30,000通	1,124通	１．よくできた							◎										神奈川県後期高齢者医療広域連合	
48	保険年金課	普及啓発		特定健診の継続受診促進と受診率向上	鎌倉市国民健康保険に加入している20～74歳の人で特定健診を受診されている方のうち、次の3条件を全て満たす方にギフト券を授与する。 ①平成27年度～令和元年度に5年連続して受診している方 ②令和元年4月1日時点で年齢が50歳未満の方 ③健診結果が異常なしの方	R2.11	郵送HP	事業内容のとおり	アマゾンギフト券：30名	１．よくできた	○				○	○	◎		○								市民健康課	
49	保険年金課	その他		人間ドック費用助成	鎌倉市国民健康保険に加入している40～74歳の人を対象に、特定健診の代わりに人間ドックまたは人間ドック学会の定める項目を満たしている健診を受けている場合、一部費用を助成する。	R2.9～R3.2	郵送（40～74歳）、HP	国保加入者（40～74歳）	372件	１．よくできた	○	◎			○	○		○	○		○	○					市民健康課医師会	
50	保険年金課	その他		特定健康診査	鎌倉市国民健康保険に加入している40～74歳の人を対象に、特定健康診査の実施及び未受診者への受診勧奨のための通知を行っている。	R2.9～R3.2	40歳～74歳で鎌倉市国民健康保険に加入している方	国保加入者（40～74歳）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未受診者勧奨は未実施。初めて特定健診の対象となる40歳の方へ受診勧奨はがきを送付：332件	３．あまりできなかった	○	◎			○	○		○	○		○	○				市民健康課医師会		
51	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	高齢者ストレッチング、高齢者筋力トレーニング、高齢者健康体操、エアロビクス、ヨガ、チャレンジ体操	通年	市内体育館等	市民	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	４．ほとんどできなかった	○	○				○		◎	○								鎌倉スポーツブリッジ共同事業体	

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体			
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化	社会生活を営む ために必要な機能 の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環 境の整備	生活習慣の改善の促進							
														こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・ 運動	休養・こころの 健康づくり	飲酒		喫煙	歯・口腔の 健康	
52	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	市民水泳教室	前期 7月22日～7月26日 8月5日～9日 後期 8月26日～28日	鎌倉海浜公園水泳プール、学校水泳プール	市内在住・在学の小学3年生～中学生200名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった				○	○				◎						鎌倉水泳協会 鎌倉市体育協会
53	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	鎌倉市民スイミングフェスティバル	8月25日	鎌倉海浜公園プール	市民100名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった	○	○	○	○					◎	○					鎌倉水泳協会 鎌倉市体育協会
54	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ジュニアソフトテニス教室	通年(月1回)	笛田公園	市内在住・在学の小学5、6年生120名	笛田公園庭球場にて市民向け初心者教室を5回開催。ソフトテニスの普及と交流親睦を図った(参加者 計65名)。新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止の回もあり。	3. あまりできなかった				○	○				◎						鎌倉ソフトテニス協会 鎌倉市体育協会
55	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ジュニアなぎなた教室	6月7日～3月28日	通年	市内在住・在学の小学3～6年生120名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった				○	○				◎						鎌倉市なぎなた連盟 鎌倉市体育協会
56	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	チャレンジバスケットボール	5月26日	大船体育館	市内在住・在学の小学1～6年生60名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった				○	○				◎						鎌倉市バスケットボール協会
57	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	鎌倉ジュニアバレーボール教室 大船ジュニアバレーボール教室	通年	御成小学校 大船体育館	在住・在学の小学生 各会場500名	競技の普及を目的としたジュニアバレーボール教室を市内2地区に分けて開催。鎌倉地区延べ48名、大船地区26回登録29名が各回の教室に参加し、技術の向上と競技人口の拡充を図った。	3. あまりできなかった				○	○				◎						鎌倉市体育協会 鎌倉バレーボール協会

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった
【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体					
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発生予防と重症化 の抑制			社会生活を営む ために必要な機能 の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環 境の整備	生活習慣の改善の促進						歯・口腔の 健康		
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康	栄養・食生活	身体活動・ 運動	休養・こころの 健康づくり		飲酒	喫煙							
58	スポーツ課	イベント		体育の日イベント スポーツ教室 (県民スポーツ週間事業)	「市民運動会」 鎌倉市内17会場で地域住民による運動会	10月10日、11日	市内の小学校他 16地区17会場	市内小学校地区住民 9,500名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった				○	○				◎						鎌倉市地区スポーツ振興会 鎌倉市スポーツ推進委員		
59	スポーツ課				「武道体験教室」 剣道、柔道、居合道、合気道、なぎなた、少林寺拳法、弓道、太極拳	10月11日	鎌倉武道館	在住・在勤・在学の小学生から高齢者 200名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった							○			◎						鎌倉スポーツブリッジ共同事業体	
60	スポーツ課				体育の日体力測定	10月11日	鎌倉体育館	在住・在勤者 30名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった		○	○							◎						鎌倉スポーツブリッジ共同事業体	
61	スポーツ課				サーキットトレーニング	10月11日	鎌倉体育館	在住・在勤者 30名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった		○	○							◎	○						鎌倉スポーツブリッジ共同事業体
62	スポーツ課				ストレッチ教室	10月11日	見田記念体育館	在住・在勤者 30名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった		○	○	○						◎	○						鎌倉スポーツブリッジ共同事業体
63	スポーツ課				施設の無料開放	10月11日	鎌倉体育館、大船体育館 鎌倉武道館、見田記念体育館	在住・在勤・在学者 500人	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった			○	○	○	○	○			◎	○						鎌倉スポーツブリッジ共同事業体
64	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「巡回教室楽しくスイミング」 学校水泳プール5会場で遊びを通して、水慣れと泳法の基礎練習	7月21日、28日、8月3日、8月10日、8月11日	学校水泳プール	小学生から高齢者 50名	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった		○	○		○				◎	○					生涯スポーツリーダー		
65	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「海の魅力発信事業」 ヨット、ウィンドサーフィン、スタンドアップ・パドルボード他	9月28日、29日	鎌倉の海	300名	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示によるイベント・啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった		○	○		○				◎						生涯スポーツ普及実行委員会 マリンスポーツ連盟		
66	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「スポーツ・レクリエーションフェア」 ニュー・スポーツの体験や幼児のサーキット運動、民謡、フォークダンスなど	5月12日	鎌倉武道館	市内在住・在勤・在学で幼児～高齢者 300名	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示によるイベント・啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった		○	○		○	○			◎	○					スポーツ推進委員連絡協議会 レクリエーション協会		
67	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「健康ウォーク」 鎌倉の海、山の散策と寺社めぐり	2月23日	コース未定	市内在住・在勤・在学で幼児～高齢者 200名	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示によるイベント・啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった		○	○			○			◎	○					スポーツ推進委員連絡協議会		
68	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「鎌倉市子どもデープロ野球観戦ご招待」 横浜DeNAベイスターズによる小・中学生と保護者を(2人1組)御招待		横浜スタジアム	市内在住の小・中学生 800組	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった					○					◎					横浜DeNAベイスターズ		
69	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「鎌倉ゆかりのトップアスリートとの交流会」 徳洲会体操クラブの監督・選手による公開練習と市民との交流会	随時	<予定> 徳洲会かまくらスポーツセンター	市内在住・在勤・在学者 300名	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示によるイベント・啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった					○					◎					徳洲会体操クラブ		
70	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「初心者の子どもの体操教室」 マット・跳び箱・鉄棒・トランポリン	随時	徳洲会かまくらスポーツセンター	市内在住、在学の幼児、小学生	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった				○	○					◎					徳洲会かまくら体操クラブ		
71	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ベビースイミング教室	9月6～10月25日	こもれび山崎温水プール	市内在住の6ヶ月～3歳未満各 30組	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった					○					◎					こもれび山崎温水プールPFI株式会社		
72	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	アクアピクス、初めてのクロール背泳ぎ、初めての平泳ぎ、初めてのバタフライ、水中歩行、肢体不自由者水泳等	9月2日～10月21日	こもれび山崎温水プール	市内在住者各回10～30名 (コースによって異なる)	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。	4. ほとんどできなかった		○	○			○				◎	○				こもれび山崎温水プールPFI株式会社		
73	こども支援課	イベント		冒険遊び場	木工・竹細工、ロープ遊び、昔遊びなど	通年	常設：旧梶原子ども会館等 出張：市内公園等	乳幼児・未就学児(及びその保護者)と小学生、中学生 4,000人程度	旧梶原子ども会館にて、子どもたちが自由に遊べる遊び場を提供するほか、子育てに関する情報発信や情報提供を実施した。	1. よくできた					○	◎			○	○					NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり		
74	こども支援課	イベント		かまくらママ'sカレッジ	6月…ストレッチ、ダンスなど 11月…親子でさといも掘り	6月、11月	6月…鎌倉武道館 11月…鎌倉中央公園	6月…0～3歳児を持つ母親30名 11月…未就園児とその保護者(定員未定)	6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 11月は屋外だったため実施したが、参加者数を例年の1/3程度に制限し実施した。	2. だいたいできた					○	◎			○	○	○				かまくら子育て支援グループ懇談会		
75	こども支援課	イベント		かまくらママ&パパ'sカレッジ特別企画	体操、歌遊び、おもちゃ作りなどの親子遊びを通して、子育てを楽しむ	10月12日	鎌倉女子大学大船キャンパス	主に未就学児とその保護者 1,000人程度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	4. ほとんどできなかった					○	◎			○	○	○				鎌倉女子大学・かまくら子育て支援グループ懇談会		

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった
【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所 属 ・ 団 体	項 目	令和2年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画												協力・連携団体							
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小と 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発生予防と重症化 の抑制及び向上	健康を支え、 守るための社会環境の整備									生活習慣の改善の促進						
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康	栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙		歯・口腔の健康						
76	こども支援課	情報提供・普及啓発		かまくら子育てメディアスポット	保育コンシェルジュ（先輩ママ）による行政の子育て支援、地域の子育て支援情報、親子向けイベントの紹介など http://homepage3.nifty.com/kmspot/	通年	市役所1階かまくら子育てメディアスポット内	主に0～3歳の子と保護者	相談件数について令和元年度181件、令和2年度171件であった。令和元年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、相談件数が減少している。概ね相談件数等変更がないため、前年同様に相談等に対応できている。	1. よくできた			◎	○			○	○	○									
77	こども支援課	その他		つどいの広場	お母さんやお父さんが気軽に集い、ゆっくりくつろげる広場	通年	腰越行政センターにて実施	主に0～3歳の子と保護者	つどいの広場 腰越行政センター：令和元年度（4～3月）の利用者は2469人に対し令和2年度（4～3月）の利用者は653人であった。新型コロナウイルスの影響により、全体的な利用人数は減少しているが、概ね前年度と同様な対応ができていると考える。	1. よくできた			◎	○			○	○	○									委託先団体
78	こども支援課	情報提供・普及啓発		かまくら子育てナビきらきらの発行	子育てに関する情報をまとめた冊子の作成	年1回発行	市内各所で配布	15000部	冊子作成のため、前年通り発行する	1. よくできた				○	◎													民間事業者
79	保育課	情報提供・普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立で使用している食材、作り方等を紹介する。	月1回随時	公立保育園	園児の保護者（約650世帯）	給食だより（年12回/月刊）、保健だより（年4回/季刊）を配布。 通年発行部数⇒給食だより7,570部	1. よくできた	○	○		○			◎	○	○									
80	保育課	その他		個別面談	公立保育園児への、栄養相談を行う（離乳食、アレルギー、肥満・るい瘦、障がい他）。	随時	公立保育園	園児の保護者（20名程度）	個別面談実施件数（18件）	1. よくできた					○			◎										
81	保育課	その他		一時預かり事業	公立保育園4園（腰越、深沢、岡本、由比ガ浜）私立保育園7園（清心、こばとナーサリー、たんぼぼ共同保育園、保育園みつばち、山崎、岩瀬、明照フラワーガーデン）で実施。 保護者と接する機会をとらえ、育児に関する情報提供や相談に応じるなど、子育て支援を行う。	随時	各保育園	保護者（のべ6870名）	一時預かり延べ利用者数 令和元年度 公立園 3,439人、民間園 3,811人 令和2年度 公立園 1,972人、民間園 2,812人 【増減 -1467人(-57.3%) 増減 -999人(-73.7%)】	2. だいたいできた				○	◎				○									
82	保育課	その他		入園児の健康診断	小児科（年2回）、眼科（年1回）、耳鼻科（年1回）、歯科（年2回）		各保育園	園児	小児科（年2回）、眼科（年1回）、耳鼻科（年1回）、歯科（年2回） 予定していたすべての健康診断を行った。	1. よくできた					◎			○	○						○			
83	保育課	イベント		地域子育て支援事業	・エンジョイ子育て応援講座BP ・保育コンシェルジュ訪問相談 ・目からウロコ講座 ・給食体験 ・離乳食体験	随時	公立保育園	一般市民	・コンシェルジュ訪問相談は多数行った。エンジョイ子育て応援講座BP、目からウロコ講座、給食体験、離乳食体験は新型コロナウイルス感染防止対策のため実施見合わせ。	3. あまりできなかった				○	○			○	◎	○								
84	保育課	その他		保健衛生嘱託員巡回訪問	身長体重の計測 健康調査	毎月	各保育園	園児	公立保育園5園 私立保育園16園 毎月巡回訪問を行った。 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2年（2020年）3月の巡回は中止となった。	1. よくできた	○	○		◎														
85	保育課	情報提供・普及啓発		日々の生活リズム	園での生活の中で、日々の生活リズム（遊びなどの運動・食事・睡眠）をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	規則正しい生活リズムを、保育士を中心に園児に指導した。	1. よくできた	○	○		◎														
86	保育課	情報提供・普及啓発		「バランスのとれた食事」の啓発と実践	年間調理保育計画年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	日々の給食を1汁2菜（主食・主菜・副菜・汁物）にし、各年齢に応じた食育を行った。5歳児には食べ物の消化吸収の話や1日の献立作成体験を食育として行った。（年間給食日数243日、累計食数95729食）	1. よくできた	○	○		○			◎											
87	保育課	情報提供・普及啓発		給食をとおり、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取り入れた給食を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	和食の献立を多く取り入れている。特に11月24日は和食の日として、和食メニューを提供し、栄養士が「和食」についての食育をした。	1. よくできた	○	○		◎			○											
88	保育課	情報提供・普及啓発		スプーンや箸などの食具の上手な使いかたを身につける	日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方（スプーンの持ち方や箸の使い方）の指導を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	食事の際に、各月齢・年齢に応じた食具の使い方を指導した。（年間給食日数243日、年間喫食数95729食）	1. よくできた	○	○		◎			○											
89	保育課	情報提供・普及啓発		食に関するマナーを知る	集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	縦割り保育や会食、各クラスでの日々の給食でマナーを学習できた。	1. よくできた								◎										
90	保育課	情報提供・普及啓発		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、家庭科、技術・家庭科等をとおり、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	調理室を外から見学したり、日々の給食時間に食前後の挨拶の意味を伝えたりした。	1. よくできた								◎										

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業							かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画												協力・連携団体		
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進							
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙		歯・口腔の健康	
91	保育課	情報提供・普及啓発		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食、地域の方との会食会等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	日々の給食は感染対策をして実施。 地域の方との会食会等は新型コロナウイルス感染防止対策のため行っていない。	2. だいたいできた							◎							
92	保育課	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の方法と収穫の喜びを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	例年並みに実施した。	1. よくできた				○			◎							
93	保育課	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	例年並みに実施した。	1. よくできた				○			◎							
94	保育課	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った 調理を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (主に5歳児クラス・約135名)	収穫した大根で切り干し大根づくりや、バター作り、あじの捌き方の見学等をした。通常、園児が調理保育に参加するが、感染防止対策のため、デモンストレーション台で職員が行う調理の見学のみを行った。	2. だいたいできた	○	○		◎										
95	保育課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	納品業者に地元産や県内産の納品に協力を依頼した。	1. よくできた				○			◎							
96	青少年課	その他		放課後児童健全育成事業等	子ども会館（児童館類似施設）・子どもの家（学童保育）・放課後子どもひろば（アフタースクール・放課後子ども教室）の運営	随時	市内	子ども会館：市内在住の乳幼児～中学生と乳幼児の保護者 子どもの家：市内在住の小学1～6年生 放課後子どもひろば：当該小学校区1～6年生と乳幼児の保護者（利用時間制限あり）	子ども会館：1施設（R3.3末時点）延べ2,348人 子どもの家：16施設（R3.3末時点）延べ144,438人 放課後子どもひろば：16施設（R3.3末時点）延べ30,479人	3. あまりできなかった						◎								
97	青少年課	その他		子ども卓球教室・フラダンス教室・リズム体操教室	基礎から練習し、身体を動かす楽しさを学ぶ。	卓球：夏・春各3回 フラダンス：夏3回 リズム体操：夏4回	鎌倉青少年会館	卓球 小学3年～中学生 フラダンス 4歳～小学生の親子 リズム体操 小学生 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							◎							
98	青少年課	その他		各種リトミック教室	音楽を通じ、親子のスキンシップを図ったり、子ども同士の交流を図ったり、障がいのある子どもの情操教育に資する。	毎月	鎌倉青少年会館	6か月児の親子～小学生など各種 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							○	◎						
99	青少年課	その他		各種料理教室	料理を通じ、食べる喜びや栄養に関する知識を得る。	原則、毎月	鎌倉青少年会館	2歳児の親子から中学生まで各種 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							◎							
100	青少年課	その他		チャレンジピンポン！ エンジョイ！ ヒップホップダンス やさしいクラシックバレエ 親子でレッツ・エンジョイ・バウンド テニス キッズヨガ 少林寺拳法	楽しみながら基礎を学び、体験する。	ピンポン 7月4回 ヒップホップダンス 10月4回 バレエ 1月～3月10回 テニス 8月4回 ヨガ 6月各2回 少林寺拳法 8月4回	玉縄青少年会館	ピンポン小学3～6年生 ヒップホップダンス小学生の男女 バレエ小学生以上の青少年 バウンドテニス小学3～6年生と保護者 キッズヨガ小学生以上の青少年 少林寺拳法小学生以上、保護者も可	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							◎							
101	青少年課	その他		親子で遊ぼう！にこにこ3B体操	用具を使って楽しく遊び、ママのストレッチもする	5月、10月	玉縄青少年会館	2～3歳児と保護者	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							◎							
102	青少年課	その他		リトミックであそぼう	リズムや拍などを感じ取り体で表現する	毎月	玉縄青少年会館	①2歳位の子 ども ②3歳位の子 ども	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった							◎							
103	発達支援室	情報提供・普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供する	月1回	同上	保護者	12回実施（前年度同じ）	1. よくできた				○			◎							
104	発達支援室	情報提供・普及啓発		給食をとおし、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取り入れた給食を実施する	通年	同上	園児	令和2年度開所日数216日、延利用児3759人に給食を提供した (令和元年度は開所日数214日、延利用児3975人に給食を提供した)	1. よくできた				○			◎							

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった
【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体					
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化 の抑制	社会生活を営む ために必要な機能 の維持及び向上			健康を支え、 守るための社会環 境の整備	生活習慣の改善の促進						歯・口腔の 健康				
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	運動・ 身体活動・	休養・こころの 健康づくり	飲酒	喫煙						
105	発達支援室	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の苦労と収穫の喜びを体験する	初夏～	同上	園児	ピーマン・プチトマト・サツマイモを育てた	1. よくできた				○			◎										
106	発達支援室	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する	秋	同上	園児	同上	1. よくできた				○			◎										
107	発達支援室	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	同上	園児	市内業者からの食材の購入を行った	1. よくできた				○			◎										
108	発達支援室	情報提供・普及啓発		食に対するこだわり・偏りに寄り添った取り組み	食事に関心を持ち、楽しい時間となるような取り組みを保護者とともに考える	随時	同上	保護者	栄養士が各クラスから情報収集を行い、給食のメニューに反映した。喫食状況は保護者に連絡帳を通じてお知らせし、家庭での食事の参考にしていただき、随時相談も受けてアドバイスなどを行った	1. よくできた				○			◎										
109	発達支援室	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った 調理を体験する。	毎月	同上	園児 保護者	コロナの感染状況を踏まえ、実施しなかった。	4. ほとんどできなかった																	
110	発達支援室	情報提供・普及啓発		入園児の健康管理	・小児科（年2回）、眼科（年1回）、耳鼻科（年1回）、歯科（年2回） ・身長体重測定 ・保護者面談	随時	同上	園児 保護者	・令和2年度は、6回（延119名）健診を行った（令和元年度は6回、延109名） ・毎月各クラスの身体測定を行うようにした ・新入園児を中心に保護者面談を行った（令和2年度7名、令和元年度9名）	1. よくできた					◎		○	○							○		
111	学務課	その他		定期健康診断	年1回健康診断を実施し、健康の保持増進を図る。	年1回	市立小学校、市立中学校	市立小中学校 児童生徒	小中25校において、3月31日までに実施済。	1. よくできた	○	○			◎		○	○	○						○	鎌倉市医師会、鎌倉市歯科医師会	
112	学務課	その他		歯科保健指導	歯科医師会と連携し、視覚的教材を活用した歯科保健指導の実施	小学校10月～12月 中学校11月～3月	市立小学校、市立中学校	市立小学校1年生～4年生 中学校1年生	新型コロナウイルス感染症予防のため、実施していない。	4. ほとんどできなかった		○	○		○										◎	鎌倉市歯科医師会	
113	学務課	情報提供・普及啓発		小学校給食についての広報	地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深める	通年		市民	学校給食の意義と役割について、ホームページを通じて広く市民の理解を深めることができた。	1. よくできた					○			◎									
114	学務課	情報提供・普及啓発		給食だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、献立の作り方を紹介する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校 児童生徒	【小学校】9回/年 【中学校】12回/年（4～6月は休校のため給食実施はなかったが、給食だよりは発行した）	1. よくできた					○			◎									
115	学務課	情報提供・普及啓発		鎌倉伝統の食による献立の作成	鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校 児童生徒	【小学校】3回（2学期1回、3学期2回。1学期にも予定していたが休校のため実施せず） 【中学校】2回（11、1月）（6月にも予定していたが休校のため実施せず）	1. よくできた					○			◎									
116	学務課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校 児童生徒	【小学校】16.5%（前年度は15.2%） 【中学校】5.6%（前年度は5.9%）	1. よくできた					○			◎									
117	学務課	情報提供・普及啓発		季節の食材の紹介	給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校 児童生徒	【小学校】当日の献立に係る「一口メモ」（151回/年）及び「給食だより」（9回/年）を発行した。また、給食時間に1校当たり平均3回指導を行った。 【中学校】当日の献立に係る「一口メモ」（145回/年）及び「給食だより」（12回/年）を発行した。	1. よくできた					○			◎									
118	教育指導課	その他		保健だより、健康だより等の発行	望ましい生活リズム等を児童生徒・家庭へ伝える。	随時	市立小・中学校	児童生徒・保護者	小・中25校全校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	◎				○	○	○					○	市立小・中学校	
119	教育指導課	その他		朝会、学級指導、道徳の時間等を利用した指導	望ましい生活リズム等を児童生徒へ伝える。	通年	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	○	○	○	◎				○	○	○					○	市立小・中学校	
120	教育指導課	その他		児童会・生徒会活動	望ましい生活リズム等を児童生徒が考える。	通年	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	◎				○	○	○					○	市立小・中学校	
121	教育指導課	その他		食育の推進	栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性、また自然の恵・勤労などへの感謝や食文化などについて、教科等の内容と関連させた指導を行う。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	○	○		○			◎									市立小・中学校	

令和２年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れていきます。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													協力・連携団体			
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り 数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べて の増減数等)	達成状況	健康格差の縮小 健康寿命の延伸と 予防の徹底	主な生活習慣病の発症予防と重症化	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上				健康を支え、 守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						歯・口腔の健康	
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康	栄養・食生活		身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙				
122	教育指導課	その他		健康・保健学習	体の発育・発達について (変化と食生活・運動・休養及び睡眠との関係) 飲酒・喫煙について等	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	◎			○	○	○	○	○	○		市立小・中学校	
123	教育指導課	イベント		鎌倉市小学校陸上記録大会	市内17校の6年生による陸上記録会を実施	10月	神奈川県立スポーツセンター	6年生	コロナウィルス感染予防のため、一同に会して実施はせず、各校での実施可否を判断。	3. あまりできなかった	○	○	○	○				◎						市内国公立小学校	
124	教育指導課	情報提供・普及啓発		食育だよりの発行	中学生へ、食や健康に関する情報を提供したり、朝食のレシピを紹介する	6月1月	市立小・中学校	生徒、保護者、教師	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	○	○		○			◎							市立小・中学校	
125	教育指導課	その他		給食をとoshしてバランスのとれた食を学ぶ	バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学ぶ。	通年	市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	1. よくできた	○	○		○			◎							市立小・中学校	
126	教育指導課	その他		生活リズム強調期間の設定	長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
127	教育指導課	その他		家庭科等の教科における食育	栄養バランスを考えた献立を整え、基礎的な調理を行う	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市内国公立小学校	
128	教育指導課	その他		食に関する年間指導計画を策定	全校で策定する。	4月	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
129	教育指導課	その他		家庭科、特活等における学習	食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
130	教育指導課	その他		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、道徳科、家庭科、技術・家庭科等をとoshして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	1. よくできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
131	教育指導課	その他		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等をとoshし、一緒に食べる楽しさを体験する。	随時	市立小・中学校	児童	児童・生徒間の距離を取る、食事中の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら給食は実施 会食に関しては中止	4. ほとんどできなかった	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
132	教育指導課	その他		生産体験学習	栽培活動をとoshして、食生活が多くの人に支えられていることを学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中学校の栽培環境のある学校で実施	1. よくできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
133	教育指導課	その他		食料生産に関する学習	社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	地理学習において「日本の地域的特色」の中で、農林水産業の特徴や課題について学んだ。	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
134	教育指導課	その他		職場体験(キャリア教育)の実施	総合的な学習の時間をとおした、職場体験を実施する。	随時	市立小・中学校	生徒	中学校全9校が第2学年で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	4. ほとんどできなかった	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
135	教育指導課	その他		社会科等の教科における学習の実施	市教委作成「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	地理学習において、海洋汚染や公害等を学ぶ中で、SDGsの視点で考える活動など環境保全の意識を育んだ。	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
136	教育指導課	その他		環境教育の実施	教科、総合的な学習の時間等をとoshし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	地理学習において、海洋汚染や公害等を学ぶ中で、SDGsの視点で考える活動など環境保全の意識を育んだ。	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
137	教育指導課	イベント		鎌倉の地域に関する学習	社会科、総合的な学習の時間等の時間をとおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小学校3年で地域学習 中学校地理で地域学習、総合的な学習の時間で身近な職業調べの実施。	2. だいたいできた	○	○	○	○			◎							市立小・中学校	
138	教育指導課	その他		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小学校3校実施 その他小学校13校、中学校9校は感染症予防対策の観点から実施せず。	2. だいたいできた							◎							市立小・中学校	
139	教育センター	情報提供・普及啓発		食育研修会の実施	児童・生徒へ「食育」を伝えるため、まず、教育に携わる教職員の研修会を開催し、一人ひとりが「食とは何か」を考える	年1回	市内	小中学校教職員 幼稚園・こども園・保育園・こどもの家等職員	コロナ禍で夏季休業期間が短縮したことにより、取りやめ。	4. ほとんどできなかった							◎							鎌倉漁業協同組合	